

平成30年度 輸出仕様食品製造支援事業

1 目的

輸出向け食品の開発を促進し、海外における道産食品の販路拡大を図ることを目的としています。

2 補助対象者

- ・札幌市内に本社（本所）を有する輸出仕様食品の製造者となる中小企業
- ・札幌市内に本社（本所）を有する輸出仕様食品の販売者となる企業（大企業を含む）または協同組合

3 補助対象事業

輸出向け食品を開発して海外に流通させる事業

4 補助金額

補助対象経費の1／2以内、上限額200万円

5 補助件数

10件

- ・ベトナム市場対応マーケティング重視型ローカライズ商品の開発事業（株式会社イークラフトマン）
- ・ASEAN・東アジア向けサプリメントブランドの構築（株式会社北国生活社）
- ・道産清酒中国輸出促進事業（クール北海道株式会社）
- ・北海道小麦（全粒粉）パスタ・冷凍生湯葉（自然解凍）刺身湯葉、無添加で長期チルド保存可能な生湯葉（汲み上げ湯葉）のオリジナル製品化と海外展開（株式会社小山製麩所）
- ・海外向けおむすびとだんごの開発と販売活動（株式会社札幌米）
- ・輸出用北海道米ギフトの開発プロジェクト（株式会社千野米穀店）
- ・アジア地域進出に伴うアイスクリーム輸出事業（株式会社長沼あいす）
- ・動物由来原料を一切使用しないにも関わらず本格札幌ラーメンが簡単に家庭でも味わえる
個食対応のスープ付西山生ラーメン（西山製麺株式会社）
- ・海外仕様の粉末MISO SOUP（株式会社北海大和）
- ・「幸せカタラーナ」「幸せ生チョコレート」の東南アジア向け販路拡大プロジェクト（株式会社よねたや）

6 補助対象経費

本事業実施に係る以下の経費

- 製造費 ■機器費 ■輸出関係費 ■海外マーケティング費 ■旅費
- その他本事業の遂行に必要なと認められる経費

7 募集期間

平成30年4月9日～5月16日

8 申請の受付・問い合わせ

一般財団法人さっぽろ産業振興財団 販路拡大支援部

〒003-0005 札幌市白石区東札幌5条1丁目1番1号

TEL:011-817-7890 FAX:011-815-9321 URL:<http://www.sec.or.jp>

※平成31年度事業詳細は、市ホームページなどで公開する公募要領等をご確認ください。

作っても幸せを生み、食べても幸せを生むスイーツを

株式会社よねたや

- 所在地／札幌市北区拓北6条2丁目7-14
- TEL／011-788-2882 ●FAX／050-3156-1271
- 代表者／代表取締役 米田 靖英
- 設立／2007(平成19)年7月 ●従業員数／36名
- URL／<http://www.yonetaya.co.jp>

就労継続支援A型事業所としてスイーツ専門店SWEETS PEACESを運営するほか、児童発達支援・放課後等デイサービス事業や、企業主導型保育事業を行うなど、地域の福祉に重点を置いたビジネスモデルを展開。

「幸せカタラーナ」「幸せ生チョコレート」の 東南アジア向け販路拡大プロジェクト ～実直な戦略で、少しずつファンを増やす～

何度も足を運んで、まずは味を知ってもらおう

平成29年度に同補助金を受け、主力商品「幸せカタラーナ/プレーン」の英語版パッケージを作成したことで、シンガポールでの販売は大きくステップアップした。今年度は、引き続き同国での販売を強化したほか、「幸せカタラーナ」の抹茶タイプ、ロースweetタイプ、そして「幸せ生チョコレート」のパッケージも海外用を作成し、台湾、タイの商談会に参加した。

「幸せ生チョコレート」の英語版パッケージは、既存の国内販売用パッケージに英語コピーのシールを貼付するだけ、と簡易的だが効果は十分。シンガポール高島屋で開催された催事では、全商品で合計約20,000シンガポールドル(≒160万円)の売上を記録した。中には、数万円分も購入する客や、日本旅行中に食べたことがあるというリピーター客などもいた。

食品は、食べてみてもらわなければ、何も始まらない。その味を気に入ってくれる人に会うまで地道な努力が必要だった。さらに海外となると、国内とは事情がまったく違うため、現地を訪れて文化や慣習を学ぶことも重要となる。輸出に関わる規制や手続きなど販売に至るまでには課題も多いが、よねたやは挑戦することを諦めず、チャンスを掴んだ。

よねたやがスイーツを売る理由

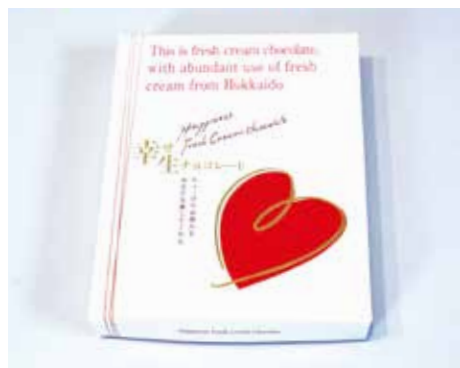
就労継続支援A型事業所として認定され、障がい者雇用によりカタラーナ等を製造してきた。以前の工場は狭く、需要があっても生産量を増やせず、働きたい障がい者の方がたくさんいても雇用することができなかった。現在の社屋に移転し、工場も大きくなったため生産量も雇用も増加した。海外に販路を拡大する理由について、社長の米田氏は語る。「需要が増えれば、雇用も増やせる。働きたいと言ってくる障がい者の方々をできるだけ多く採用するためです」

行かなければチャンスも得られない

海外への販路拡大は、渡航費など、多額の費用がかかり、自社の資本力ではあまりにもハードルが高い挑戦です。行政が補助金という形で輸出事業を後押ししてくれることは、すごくありがたいと思っています。



代表取締役
米田 靖英



▲英語表記を貼付した「幸せ生チョコレート」



▲購入客の列ができたシンガポール高島屋での催事



▲「幸せカタラーナ」抹茶タイプ